

### 第3回美濃加茂市総合計画審議会議事録

- 1【日時】 平成31年3月26日（火）19:00～20:55
- 2【場所】 美濃加茂市生涯学習センター203号室
- 3【出席者】
  - (1) 議会委員：海道会長、杉山副会長、高木委員、今村委員、高井委員、鈴木委員、深貝委員、安藤委員、鹿野委員、藤井委員、佐合委員、福田委員、西田委員、久保田委員、渡邊（明日香）委員  
(19名中17名出席)
  - (2) 業務委託先：株式会社ぎょうせい2名
  - (3) 市長部局：経営企画部長、企画課長、その他企画課3名

#### 4【概要】

- (1) 会長あいさつ
- (2) 配布資料確認
- (3) 定足数確認 過半数を超えているため会は成立することを確認
- (4) 報告事項

- i) 事務局から第2回審議会議事録について説明
- ii) その他

○経営企画部長から市議会第1回定例会（H31.3）で市議会の議決すべき事件に関する条例が改正され総合計画のうち基本構想及び基本計画部分が議決事項になった旨説明し、審議会においても付帯事項として基本計画等について協議することの依頼があった。

#### (5) 協議事項

- i) 将来ビジョン（基本構想）について
- ii) 重要政策について（グループ討議）
- iii) その他（計画体系案について）

#### 【将来ビジョン（基本構想）について】

○目指す姿が「健康」となっているが、「健康」は、最終的に目指すべき姿ではないのではないか。市全体が目指すべき姿が欲しい。

#### 【重要政策について（グループ討議）】

委員を3グループ「健康増進・産業振興」「多文化共生・女性若者活躍」「防災減災・都市整備」に分け重要政策2テーマづつについて討議、結果を発表し共有した。

## 【健康増進】

### ○キャッチコピー

「生涯健康で元気宣言！」

- ・健康を若い世代に意識づける必要があることから

### ○目指す姿

「みんながこころと体の健康増進を図り、生き生きと交流するまち」

### ○成果目標

- ①健康寿命延伸（採用）
  - ②介護認定率減少（採用）
  - ③特定保健指導対象者減少（不採用）
  - ④1日8,000歩、週〇回達成率
  - ⑤スポーツ実施率
- ・④⑤を合わせた市民の運動実施の状況を把握する何らかの指標が望ましい
  - ⑥毎日の自分の歩行数を知っている人の割合（採用）
  - ⑦心と体の健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合（採用）

### ○主な施策について

- ・食生活改善についての取組が必要
- ・自転車を利用できる環境の整備が必要

## 【多文化共生】

### ○キャッチコピー

「みんなで一歩をふみだそう宣言！」

### ○目指す姿

「みんなを理解し、一緒につくるグローバルシティ（まち）」

### ○成果目標

- ①外国人の市民活動サポートセンター登録者稼働率（不採用）
- ②高校進学率（採用）
- ③外国人自治会加入世帯数（不採用）
- ④日本語教育参加者数（採用）
- ⑤多文化共生のまちづくりが進んでいると感じる人の割合（採用）
- ⑥外国人と積極的に交流を図っている市民の割合（採用）

- ・教育に関する取り組みに力を入れる必要がある

### ○主な施策について

- ・コミュニケーション支援に力を入れる必要あり

## 【女性若者活躍】

### ○キャッチコピー

「みんなにスポットライト宣言！」

### ○目指す姿

「女性と若者が輝き、自分らしく生きるまち」

○成果目標

- ①女性のM字カーブ解消（20～30代女性の労働力率向上）（採用）
- ②待機児童ゼロ（不採用）
- ③審議会における女性の割合（採用）
- ④ファミリーサポートボランティア登録数（不採用）
- ⑤普段の生活や子育てに満足している人の割合（採用）
- ⑥若者の地元就労意欲（採用）
  - ・就労率も考慮する

○主な施策について

- ・男女共同参画推進については、実施計画で対応

【防災減災】

○キャッチコピー

「必ず生き残ろう宣言！」

○目指す姿

「まず自助、互助、そして共助」という意識を全市民が共有し、みんなが生き残るまち」

○成果目標

- ①防災リーダー・防災士の活動割合（地域での防災訓練等）（採用）
- ②自治会単位での自主的な防災訓練参加率（採用）
- ③防災時の備えができていない人の割合（採用）

○主な施策について

- ・「アプリ防災教室」の活用

【産業振興】

○キャッチコピー

「活力とゆたかさあふれるまち宣言！」

○目指す姿

「新しい価値をつくり、生きがいを感じる魅力あるまち」

○成果目標

- ①インバウンド効果検証（採用）
  - ・外国人観光客だけでなく国内入込客も含めて観光促進を進めていくべき
- ②有効求人倍率
  - ・何を指すか明確にする必要あり
- ③市民一人あたりの付加価値額
- ④昼夜間人口比率
- ⑤産業・観光振興に積極的に取り組んでいるまちとを感じる市民の割合
  - ・③④-----企業誘致、正規雇用の増加を計る指標が望ましい
  - ・⑤-----どこも取り組んでいるため独自性を出すことが課題

## 【都市整備】

### ○重要政策タイトルについて

- ・「都市整備」ではなく「地域再生」が望ましい

### ○キャッチコピー

「地域を再生しよう宣言！」

### ○目指す姿

「どこに住んでいても移動できる住みよいまち」

### ○成果目標

- ①公共交通利用者数（採用）
- ②空家、空き店舗利活用件数（採用）
  - ・需給のギャップを埋めるマッチングの必要性がある
- ③耕作放棄地の減少（採用）
  - ・耕作放棄地を別の目的に利用するのではなく農地の再生を目指す
- ④住みよいまちだと感じる人の割合（採用）

（６）その他 計画体系案について説明

（７）企画課長からあいさつ

## 5 【次回開催日】

次回開催日は、平成 31 年 4 月 23 日（火）19：00～21：00 とした。

以上